

令和元年度『生きる力を育む弁当の日』の取組まとめ

目的

- ① 子どもの食育推進。
- ② 『弁当の日』を通して子どもたちの人格形成につなげる。
- ③ 子どもを通して、家族、地域へ食育。
- ④ 学校の食育を、子どもを取り巻く地域・行政等が支援し、健康づくり・人づくり・町づくりを推進していく。

令和元年度支援経過

南丹市内4校実施

八木東小学校、園部第二小学校、殿田小学校、美山小学校

＜八木東小学校＞1年を通して、「食」を通して生きる力を培う。

- | | |
|--------------|--|
| 「梅干づくり応援隊」 | 6年生を対象に、食生活改善推進員の支援により、梅干しの仕込み、重石の調整、しそ入れ、天日干し等を3回の授業で実施。(6月～7月) |
| 「栄養授業」 | 5年生の授業で「弁当の日の取組み」「バランスのとれたお弁当の入れ方」についての事業を実施。(10/28) |
| 「お弁当作り応援隊」 | 5、6年生を対象に栄養指導を実施し、その後食生活改善推進員の支援により、収穫した野菜を利用した調理実習を実施。1人1品作成。
(献立作成6年11/5、5年11/8：調理実習6年11/15、5年11/21)
担当の先生と反省会を調理実習終了後に毎回実施。 |
| 「切干大根応援隊」 | 3、4年生を対象に、食生活改善推進員の支援を受け、切干大根作りを実施。(1/30) |
| [弁当の日だよりを発信] | 学校がたよりを学期ごとに作成し、調理実習の様子、子ども達の感想を添えて定期的に保護者や地域に発信。 |

◇「弁当の日」の実施 令和元年12月9日(月)学校のみで実施

＜園部第二小学校＞「食」に関する正しい知識を身に付け望ましい食習慣を目指す児童の育成

- | | |
|--------------------|---|
| 「学年PTAでの取組」 | 6年生の授業参観にあわせ、竹下先生のDVDの鑑賞、「弁当の日の取組」について保護者に説明、目的の確認を行なった。(1学期) |
| 「栄養授業」 | 6年生の授業で「弁当の日の取組み」「バランスのとれたお弁当の入れ方」「献立の立て方」についての事業を実施。(11/5、11/11、11/18、12/16) |
| 「お弁当作り応援隊」 | 6年生を対象に食生活改善推進員の支援により、主食、主菜、副菜のバランスを考えた調理実習を実施。(11/26、11/28) |
| 「買い物体験」 | 6年生を対象に、食生活改善推進員が同行し、彩りやバランスを考えて食材の買い出しをおこなう。(1/10) |
| 「食に関する指導充実事業研究報告会」 | 1/21開催された研究会では～生きる力を育む「弁当の日」～をテーマに公開授業を実施され、その後に研究報告をされる中で保健医療課が地域と共に生きる力を育む「弁当の日」の取組について報告を行なった。 |

◇「弁当の日」の実施 令和2年1月14日(火)保護者の参観も実施

<殿田小学校> おかずづくりの応援隊と学校が連携し、「弁当の日」の取組みを充実

- 「お弁当詰め体験」 5、6年生が、学校の栄養教諭の指導を受け、給食のメニューを彩りや、バランスを考えお弁当箱に詰め込む体験をおこなう。(5/31)
- 「お弁当作り応援隊」 5、6年生を対象に食生活改善推進員の支援により、収穫した野菜を利用した調理実習を実施。5年生は調理実習～お弁当詰め、6年生は野菜のおかずを1人1品仕上げる。(6年11/7 : 5年11/14)
- 「弁当の日だよりを発信」学校がたよりを作成し、調理実習や野菜づくりの様子、子ども達の感想を添えて定期的に保護者や地域に発信。
- 「感謝の弁当の日」 6年生が送る会で保護者に対して、調理実習したメニューで弁当を作成し感謝を伝える会を実施。(2/27)

◇「弁当の日」の実施 令和元年12月9日(月)

参観では児童から、参加された食生活改善推進員と保健医療課に対し、感謝の色紙が送られた。

<美山小学校> 子ども達の「意思」に寄り添い「弁当の日」調理実習を実施

- 「お弁当作り応援隊」 6年生を対象に、食生活改善推進員の支援により、子ども達が考えたメニューで「お弁当のおかずづくり」の調理実習を実施。(12/5)
- 「交流会」 学校、食生活改善推進員美山支部、保健医療課で生きる力を育む「弁当の日」が無理なく、長く実施出来るよう交流会を行なった。
- 今後、学校と食生活改善推進員が連携をしながら取組みが行なえる話し合いが行なえた。(12/16)

<令和元年度弁当の日アンケートの実施>

- ・「弁当の日」実施校の児童、保護者、応援隊、教師(後のみ)対象にアンケートを実施。
- アンケート(前)実施時期: 令和元年7月
- アンケート(後)実施時期: 事業終了後から随時(令和2年3月には回収完了)

「弁当の日」の取組みを南丹市・南丹市外に広く啓発

- ・南丹市食生活改善推進員八木支部と木津川市食生活改善推進員が「弁当の日」をテーマに交流研修会を実施(10/8)
- ・令和元年度(第23回)保健活動助成「チヨダ地域保健推進賞」受賞。地域と共に支え、生きる力を育む『弁当の日』の取組を発信。

取組成果

児童においては

- ① 野菜を栽培し、調理し、自分で弁当を作り、いただくという、生きる力に結びついた。
- ② 健康づくり推進協議会の『応援隊』という形で、地域とつながり学ぶことが出来た。
- ③ 家族をはじめ、地域の皆さんに感謝の気持ちが生まれた。
- ④ 子ども自身の自己肯定感が高まり、人格形成につながった。
- ⑤ クラス運営、仲間づくり、家族の絆も深まり、大きな影響があった。
- ⑥ 小学生から生活習慣病予防の発信が出来、家族にも食育推進、健康づくりについて発信できた。
- ⑦ 継続されている学校においては、「次の学年では、こんなことがしたい」という意欲が感じられた。
- ⑧ この取組を通して自分たちが大人になるためにどんな力が必要かを児童自身が自覚できた。

学校では

- ① 地域の人材の発掘が出来、教育の場に新しい人材が入り、子供たちが豊かな学びが出来た。
- ② 学校が中心となり、子供を通して、家族、地域への健康づくり・食育推進の発信が出来た。
- ③ 学校再編によって、地域との関係が薄れてしまうことを懸念されていたが、応援隊として、地域の協力を受けることで、食育を通して地域の子どもたちを地域で育てていく体制づくりが定着してきた。
- ④ 実施校の「弁当の日」の担当者と地域（応援隊）が少しずつ繋がり、今迄の内容を引き継ぎつつ、新たな体制を整えて実施する事が出来た。
- ⑤ 学校栄養教諭も「弁当の日」の取組に参加し、一緒に子ども達の食育に取り組む事が出来た。また、中学校においても「弁当の日」の取組を実施される広がりが見られた。
- ⑥ 授業日数やカリキュラムの関係で時間の確保が難しい中、各校と十分協議を行ない各校に応じた内容で取組を継続することが出来た。

健康づくり推進協議会として

- ① 『弁当の日』に関わる団体が有機的につながり、連携し共通の目標に向かって進むことが出来た。
- ② 以前は、小学校に各種団体が入ることが難しかったが、弁当の日の取組みをとおり、学校と連携をとった事業が年々増加し、組織自体の活性化が図れ、組織の成長、活動の発展につながった。
- ③ 『応援隊』として『弁当の日』に関わることで、「野菜を作り、調理し、食べる」喜びや感動を肌で感じ取り、共感し、支援した会員も元気になることができた。
- ④ 今年度は、「弁当の日」の取組を京都府内外に広く発信する事が出来た。このことから、組織の成長や、さらなる発展に繋がった